

宮里凜太郎さん、こずえさん
こといちゃん2歳、キキちゃん0歳
(下三井庄)
猫のレックス♂ ロキシー♀

大路には多くの方が移住して生活されています。お互いに知り合いになり、心安くお付き合いしながら、共に大路の良さを共有して暮らしていきたいと思います。順不同でご紹介しています。

先日行われた移住者交流会(8/27)に出席して下さったご家族を紹介します。宮里さんは今年の2月に大阪から移住されました。大路の「穏やかで子育てにいい環境」を肌感覚で感じて、三尾山へと続く広々とした景観と住まいと畑を選ばれました。現在、「BONSAI LABO 凜」を丹波でグランドオープンすべく準備を進めておられます。高価なとがったイメージが先行する盆栽よりは、暮らしの中で楽しめる盆栽をテーマにされており、ワークショップの開催など楽しみです。



▲パパのお手伝い

凜太郎さんの母方の祖父が写真館を営んでいた姿に影響を受け、写真家として挑んだこともあったとのこと。仕事としてカメラマンを続けていた時期、デジタル化の波が押し寄せ「何が本当に大切なのか、デジタル化されないものへの思い」が強くなっていきます。28歳の時に盆栽に出会い、修行の道へ。33歳で独立へと舵をきりました。

▲笑顔がすてき!!宮里ファミリー
右端に見える井戸水はとても貴重で大切なこと。仕事としてカメラマンを続けていた時期、デジタル化の波が押し寄せ「何が本当に大切なのか、デジタル化されないものへの思い」が強くなっていきます。28歳の時に盆栽に出会い、修行の道へ。33歳で独立へと舵をきりました。

二人が出会った頃は、凜太郎さんは、朝晩介護を副業としてやりながら、日中は盆栽業の仕事をしながらか生活をし、こずえさんはIT通信関連の仕事をしていて、盆栽業一本で生活を決心。大阪のビルの一室からスター

トし、「となりの人間国宝さん」などメディアで紹介されることが増え、西宮や神戸からのお客様がグッと増え、インターネットでの販売が伸び始め事業が軌道に乗ってきました。子供の出産や仕事の忙しさの中、手狭になった事務所の移転を検討し始めます。相生市、加西市、小野、三木、丹波篠山……と探されてたどりつかれたのが「大路」。

「明るさ」「おおらかさ」「むらの雰囲気」「道にごみが落ちていない」「事業者さんに寛容」そんなキーワードがお二人から聞いたことがとても嬉しかったです。大阪の保育園ではビルの一室だったり、公園に出るのにも不安がありました。こちらでは、草むらに入るのも怖がっていたこどもが、ガサガサと葉っぱの生い茂る中に入って走り回ったり、虫も怖くなくなったりしました。人間力！ たくましくなりました。と嬉しいお母さんの声も、未来を感じる言葉です。また、地域おこしにも興味があり、二人一緒にセミナーに通うなど、学びの意欲も抜群ですね！
芸術としての写真家の視点、商業からの切り口で携わったカメラマンの経験、介護や福祉に携わった経験。こずえさんのIT通信の知識やサポート、二人が真剣に向かい合ってきたからこそこの今と未来。この大路で花開く時を待っています。

★宮里さんからの耳寄り情報 :ちょっとした庭木の剪定 お任せください。ご近所かけつけます(^_^)

TEL 0795-71-4628

Instagram @bonsai_labo_rin_tamba_japan

HP <http://www.bonsai-labo-rin.com/>



▲ギャラリーとなる離れを絶賛!ノベ中